

Vol.3 11-12月度

ただいま。



赤い三角屋根の
旧国立駅舎が
帰ってきました!

2020.11.11



2020.12.28

旧国立駅舎 <利活用>リポート2020

旧国立駅舎運営連絡会向け報告資料



② 都市の アイデンティティ



シビックプライド※の 源泉

※「シビックプライド (Civic Pride)」とは、都市に対する市民の誇りを指す言葉。自分自身が関わって地域を良くしていこうとする、ある種の当事者意識に基づく自負心、それがシビックプライド。



まちのシンボル

旧国立駅舎ブランドを再定義しアップデート。

これら3つの再定義した価値を
“利活用”を通じてブランド体現し
更新してきた (実質7カ月間の) 2020年でした。

トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新1

再度、旧駅舎「アウェアネス・カラーライトアップ」を展開。
名実以上の“まちのシンボル（発信拠点）”としての面目躍如。

1

まちの
シンボル



ダブルリボンキャンペーン2020

@広間+展示室
2020.11.12-11.18

主催：国立市
政策経営部 市長室+子ども海底部 子育て支援課

注：“アウェアネス”は、気づき、意識の意味。

アウェアネスカラーライトアップとは、社会運動シンボルカラーによるライトアップを通じて、啓発への賛同を示すこと。
旧国立駅舎のアウェアネスカラーライトアップ第一弾は「ピンクリボン」。第二弾が、この「ダブルリボンキャンペーン」。

トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新2

コロナ禍で延期となった秋の名物イベント「天下市」が代替策会場として選んだ場所は、“まちのシンボル”旧国立駅舎でした。



トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新3

誰でも演奏可能なピアノ運営に「プレイピアノ」の愛称を命名。
毎日2時間、アフタヌーン/イブニングの帯運営で利活用と共存。

①

まちの
シンボル

みんなで奏でる「プレイピアノ」運用開始

@広間

2020.12.20～ 毎日運営中

主催：国立市 都市整備部 国立駅周辺整備課 旧国立駅舎係



トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新4

94年の年月を超えた邂逅^{かいこう}※。一橋大学との契約に基づいて創建された旧国立駅舎の中で『一橋祭』サテライトイベントが開催。

※邂逅>思いがけなく出会うこと。めぐりあうこと。



一橋祭サテライトステーション

@広間+展示室
2020. 11.20-11.23
主催：一橋祭運営委員会

ピアノ寄贈に際し主体的なストーリーテリングにより価値を創出。
1926年当時の隠れたヒストリー「国立音楽村」に光をあてる。

みんなで奏でる 旧国立駅舎プレイ・ピアノ

このピアノは、くにたちのまちのヒストリーに埋もれた
“「国立音楽村」構想”に再び灯をともし、誰もが音楽を楽しみ、共に響きあう、
国立市のまちづくりの理念とも通じるシンボルです。

2

都市の
アイデンティティ

ピアノ「SCHIMMEL」(Schimmelは、ドイツのピアノメーカー)
フラウンシュヴァイクに本社を置くドイツの歴史

ピアノ寄贈式&ミニコンサート

@広間

2020.12.20

主催：国立市 都市整備部 国立駅周辺整備課



トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新6

夏に続き、冬にも旧国立駅舎でのイベントを開催コーディネート。
市の政策の根幹にある“ソーシャルインクルージョン”の源流をたどると、そこには障がい者支援団体「かたつむり」の存在が。

2

都市の
アイデンティティ



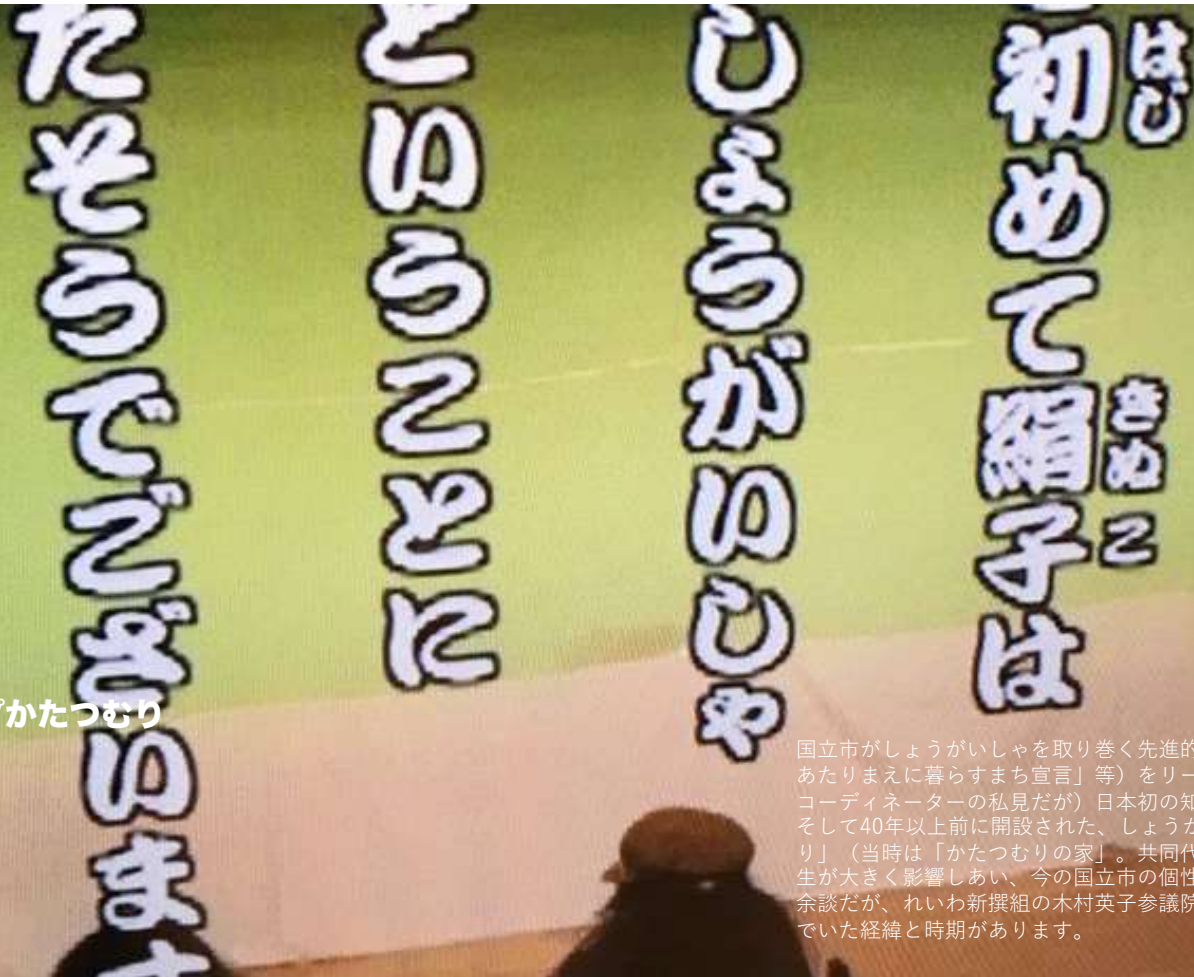
そのひとらしさのじっげん
ライフステーション
ワンステップかたつむり

しょうがいしゃと人権

@広間+展示室

2020. 12. 14-15

主催：ライフステーション ワンステップかたつむり



国立市がしょうがいしゃを取り巻く先進的な取り組み（例えば2005年「しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言」等）をリードし推進してきた背景には、コーディネーターの私見だが）日本初の知的しょうがい児向けの学校「滝野川学園」の存在、そして40年以上前に開設された、しょうがいしゃが地域で自立生活を支援する「かたつむり」（当時は「かたつむりの家」。共同代表は、“世直しお絹”こと三井絹子さん）の存在と共生が大きく影響しあい、今の国立市の個性の一端を作り出している、と考えています。余談だが、れいわ新撰組の木村英子参議院議員は、三井絹子さんを頼って国立市に移り住んでいた経緯と時期があります。

トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新7

“じもとの誇り”を問う、500人規模の大アンケート回収イベント。 国立市民が誇る文化資源・名産品・観光名所・ランドマークは？



ジモトト国立
&東京TAMAシリーズ

@広間
2020.12.7-12.13
主催：株式会社ジムネットワークス

3

シビックプライドの
源泉

トピックスで振り返る、旧国立駅舎“利活用”を通じたブランド価値の更新8

“国立市は子供も地域社会に関わっていく町だと知ってもらいたい”
そんな小学生の声を反映した、国語授業の成果展示で地域連携も。



累計入館者数 **27万9,099人**

旧国立駅舎（令和2年4月6,7日+6月1日～12月28日まで）



事前相談 **24件**

17団体に対応

(11/11-12/28の48日(ビジネスデー31日)間の旧駅舎のスペース利活用の相談対応件数)

単独イベント動員数（推定）

1万1,158人

「天下市 写真展」(11/28-12/6)



イベント稼働率

81.25%



(11/11—12/28の48日間のうち39日間がイベント活用)
※10月度稼働率実績は64.5%

質問 **300件**
ご意見ご感想 **94件**
館内案内 **61件**
まちの回遊性促進 **23件**

(11/11-12/28の48日間のまち案内所での対応件数)

物販売上累計
383万1,862円
(該当期間中：77万6,894円)

(11/11-12/28の48日間)

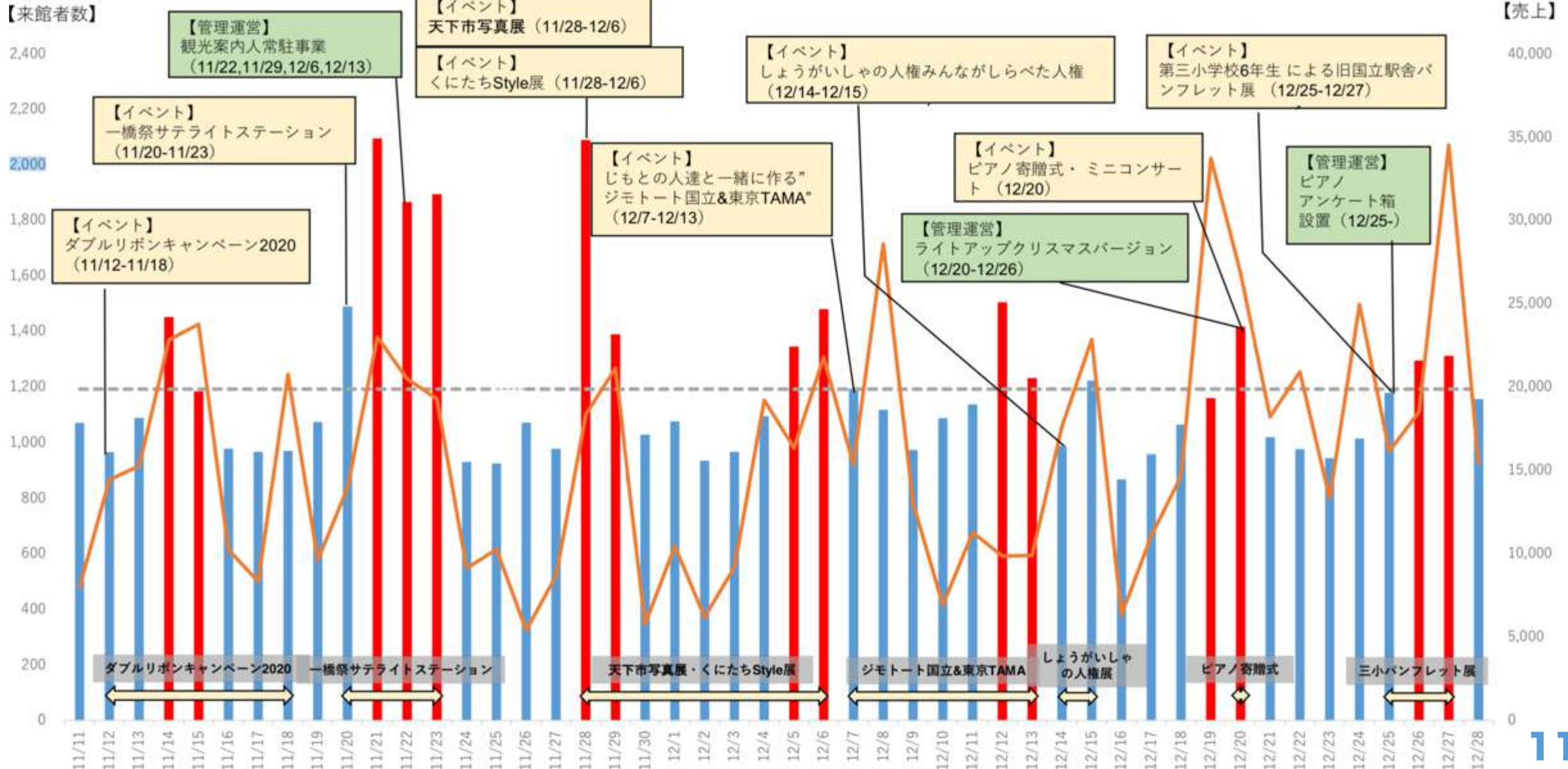


日別「来館者数」「売上※」「トピックス」の相関データ (対象期間 11/11-12/28)

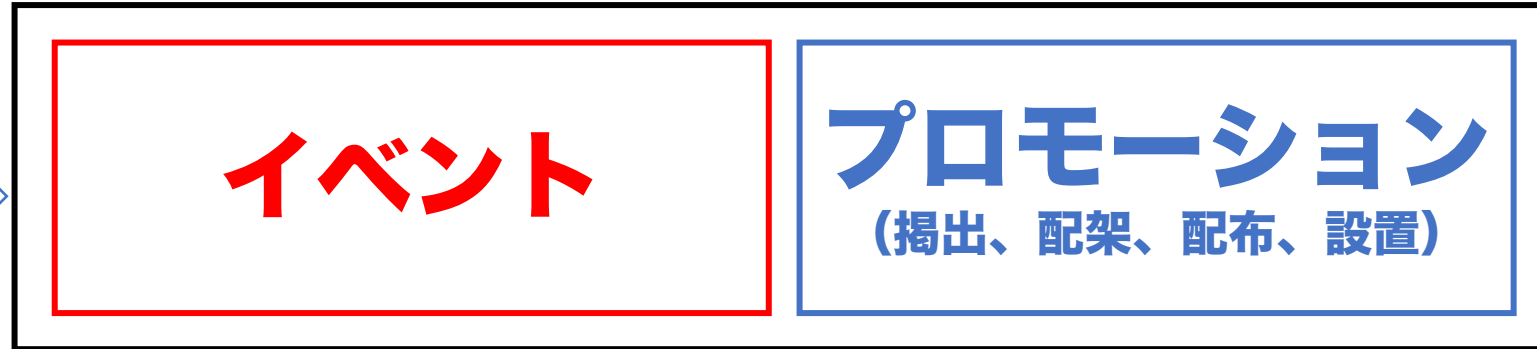
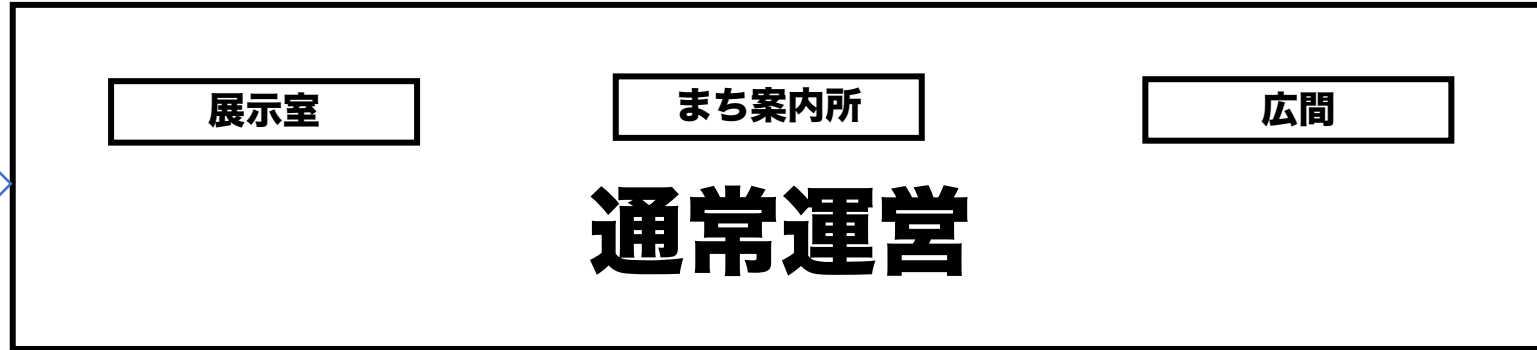
※売上→「まち案内所」内の物販売上の日別計上額

棒グラフ
(水色=平日/赤=土日祝日)

折れ線グラフ
(オレンジ)



旧国立駅舎は、“二刀流”の「スペース利活用」を展開中



イベント展開実績①

ダブルリボンキャンペーン2020

@広間+展示室

2020. 11.12-11.18

主催：国立市

政策経営部 市長室+子ども海底部 子育て支援課

期間中累計来館客数

8,249人



この日のアウェアネスカラーは「パープル」。「オレンジ」と日替わりライトアップ

令和2年 11月2日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

旧国立駅舎を日替わりで2色にライトアップ
 ~STOP DV・子どもを守ろう~
「ダブルリボンキャンペーン2020」開催

毎年11月は、国が定める「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日～25日)と「児童虐待防止推進月間」です。
 この2つの取り組みを表すシンボルとなるマークが「パープルリボン」と「オレンジリボン」です。
 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、登園や登校の自粛、在宅勤務など自宅で過ごす時間が増えたことに加え、新しい生活様式を取り入れるための生活の変化に伴う家庭内での心理的負担などにより、DVや児童虐待が起きるケースが増えています。
 女性に対する暴力と児童虐待が密接に関連していることから、市ではそれらの防止と対策のために、2つのシンボルを組み合わせた「ダブルリボンキャンペーン2020」を実施します(詳細は、市報くにたち11月5日号1面にも掲載しています)。
 一人でも多くの方にDVと児童虐待の問題を認識していただきたく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

▲ダブルリボンキャンペーンのマーク。

旧国立駅舎のお知らせ
 INFORMATION FROM THE FORMER KUNITACHI STATION

11/12(水)～11/18(水)まで開催
 ~STOP DV・子どもを守ろう~
ダブルリボン
キャンペーン2020
 「広間+展示室」スペース

STOP DV・子どもを守ろう
 ダブルリボンキャンペーン2020

DVと児童虐待による悲しい事件を繰り返さないために

旧国立駅舎
 THE FORMER KUNITACHI STATION



ウィッシュ(みんなの願い)メッセージツリーも大盛況でした

パブリシティ

東京新聞
TOKYO Web

女性への暴力・児童虐待防げ

旧国立駅舎ライトアップ

旧国立市の旧国立駅舎で11月12日、女性に対する暴力と児童虐待の防止を呼び掛けるパネル展が始まった。十日までの期間中、二つのシンボルを象徴する紫色とオレンジ色に旧駅舎を日替わりライトアップする。因がめる「女性に対する暴力をなくす運動」期間と「児童虐待防止推進月間」を合わせて開催した。

女性に対する暴力に関するパネル十一枚と児童虐待に関するパネル十八枚を展示。「相手を従わせるのは愛ではない」などDVについて説明するパネルや相談機関の案内などが展示されている。児童虐待について

「介護保険を考える弁護士と障害者の会全国ネット」(事務局長・立川市)八周年オンラインシンポジウム「当たり前の生活を実現するために！」が二十三日午後一時半ごろから、ライブ配信される。視聴無料。同会は、全国の障害者難病患者が自立生活を営むために公費によるヘルパ

子育てを支援する地域の体が紹介されている。旧舎の広間では、入場者感想や願いを書いたカードにツリーに飾られるようにした。「見えない暴力、聞かない助けがなくならない」といった言葉が寄せられていた。市の子ども家庭支援センター所長、関根義矢さん。「一つの家庭に夫婦間のDV、児童虐待の両方があがるケースが全国的にあえー一緒に開催することで、周知したい」と話した。入場無料。二十日(土)

オンライで



紫色にライトアップされた旧国立駅舎＝国立市で(市報)

「パープル」は、「女性に対する暴力をなくす運動」の「オレンジ」は、「児童虐待防止推進」の象徴となるアウェアネスカラー。

イベント展開実績②

2 一橋祭サテライトステーション

@広間+展示室

2020. 11.20-11.23

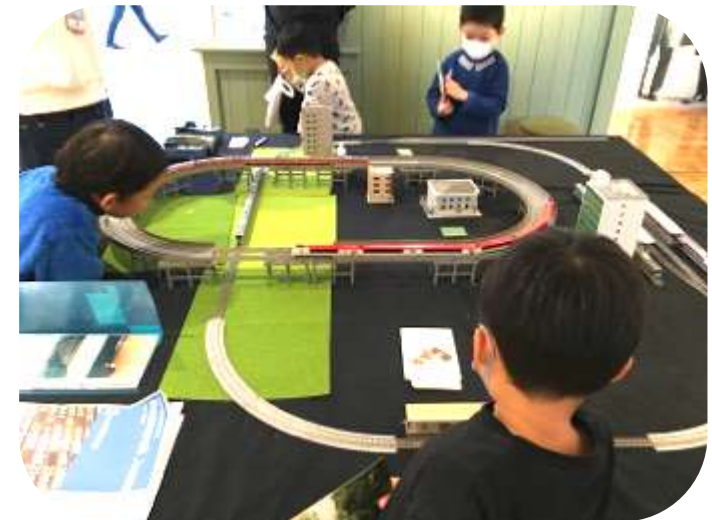
主催：一橋祭運営委員会

期間中累計来館客数
7,347人



一橋祭のマスコットキャラクター「ぼん吉」がシンボリックに円形ベンチに鎮座

一橋大学鉄道研究会による旧国立駅舎と中央線のジオラマは子どもにも大人気



オープニングを飾った「一橋大学管弦楽団」のコンサート。旧駅舎94年の歴史上、館内の演奏会はこれが初かもしれません。

「旧国立駅舎の歴史は、一橋大学との“理想の学園都市”を共に目指したところから始まる」とリリースにも記載されています。

イベント展開実績③

3

天下市写真展

@広間+展示室+外構スペース
2020. 11.28-12.6
主催：国立市商工会 青年部

期間中累計来館客数
11,158人

パブリシティ

J:COM

旧国立駅舎のお知らせ

INFORMATION FROM THE FORMER KUNITACHI STATION

11/28 (土) ~12/6 (日) まで開催

国立市商工会青年部が主催する商業祭、
全54回の歴史を振り返る

天下市

天下市 写真展

「広間」スペース



主催者「国立市商工会青年部」の
みなさんの選挙ポスターも恒例通り掲出



12月6日(日)まで開催
「天下市SALE」⇒市内全43店でSALEを開催
「天下市写真展」⇒旧国立駅舎内にて開催

館内の写真展と連動して、市内全域43店舗が参加する「天下市Sale」を連動したイベントになりました。



天下と一緒にニャンのコラボ風船もお祭り感の演出には効果的でした。



例年人気の企画「未来の自分にハガきを出そう“Send To Me”企画も人気でした



週末のみ、「くにニャン」も駆けつけてくれました。一緒に写真を撮ろう！

イベント展開実績④

4

くにたちStyle 35コレクション

@広間
2020.11.28-29
主催：国立市 商工会

期間中累計来館客数
3,117人

国立市商工会が選定する、国立ゆかりの銘品選定「くにたちStyle」を一堂にパネル展示するのは、例年「天下市」での恒例イベントでした。

旧国立駅舎のお知らせ

INFORMATION FROM THE FORMER KUNITACHI STATION



11/28 (土)・11/29 (日) 開催

心地よさと喜びそして安心のブランド 35アイテムを一挙紹介

くにたちStyle 35コレクション

「広間」スペース



旧国立駅舎館内の「まち案内所」セレクトショップで扱う「くにたちStyle」商品には“販売中”のPOPを配し、館内での購買回遊をうながす仕掛けも行いました。



イベント展開実績⑤

5

ジモトート国立 & 東京TAMAシリーズ

@広間

2020. 12.7-12.13

主催：株式会社ジムニーワークス

期間中累計来館客数

8,103人



主催は札幌の雑貨商品企画会社、ジムニーワークス。
基幹商品「ジモトート」はこれまで全国100都市以上で商品化されています。

「ジモトート」は、“地元”と“トートバッグ”の組合せ造語。
“じもとの誇り”として集めた声をデザインモチーフとして
反映した地域オリジナルトートバッグ。
今回、都内初のジモトートが国立市を含む東京多摩5都市で作成される
運びになり、プロモーション会場として、旧駅舎を選んでいただきました。



アンケート回答と引き換えに主催者扱い商品「エゾニマルノート」を500名にプレゼント。
旧国立駅舎にとって初の「サンプリング（配付PR）」に類するイベント事例にもなりました。



さあ、あなたなら「くにたちの地元の誇り」で何を選ぶ？ 文化資源、観光名所、特産物、ランドマークの各部門で選んでもらいます。

イベント展開実績⑥

6

しょうがいしゃと人権

@広間+展示室

2020. 12.14-15

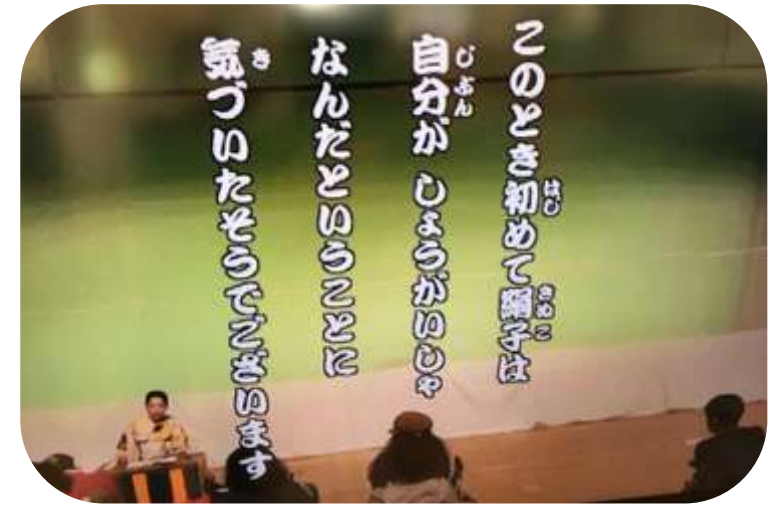
主催：ライフステーション ワンステップかたつむり

期間中累計来館客数
1,980人



そのひとらしさのじつげん
ライフステーション
ワンステップかたつむり

今から40年以上前に開設された、しょうがいしゃが地域で自立生活を支援する「かたつむり」(当時は「かたつむりの家」。共同代表は、「世直しお絹」こと三井絹子さん)の存在と共生が大きく影響しあい、今の国立市の個性の一端を作り出している、と考えています。
※コーディネーターの私見です



「かたつむり」共同代表「世直しお絹」こと三井絹子さんの生涯を舞台化した「絹子ものがたり」の映像上映。

旧国立駅舎のお知らせ

INFORMATION FROM THE FORMER KUNITACHI STATION

【人権週間】運動企画

12/14 (月) ~12/15 (火) まで開催

しょうがいしゃの人権

みんながしらべた人権

主催：ライフステーション ワンステップかたつむり

「広間」+「展示室」スペースにて開催

らいつすてーしょん
わんすてっぷかたつむり

わたしの
しらべた
じんげん

しせつが
×(ばつ)
なりゆう

みんなの
しらべた
じんげん
ばねる
てんじてん

わかり
やすい
ことば
づかい

ばりあ
ぶりー

かたつむりのみんなが じんげんについて
しらべたことを
ばねるてんじて はっぴょうします



三井絹子さんの描いた絵本。亀の表情の絶妙さは必見。

「かたつむり」様主催のイベントは、夏の「サマークリスマス：しょうがいしゃが考えた戦争：研究発表展」に続き、2回目のイベント開催。

イベント展開実績⑦

7

旧国立駅舎とおともだち 国立第三小学校6年生 約70人による 旧国立駅舎パンフレット展

@広間
2020.12.25-27
主催：国立市立国立第三小学校

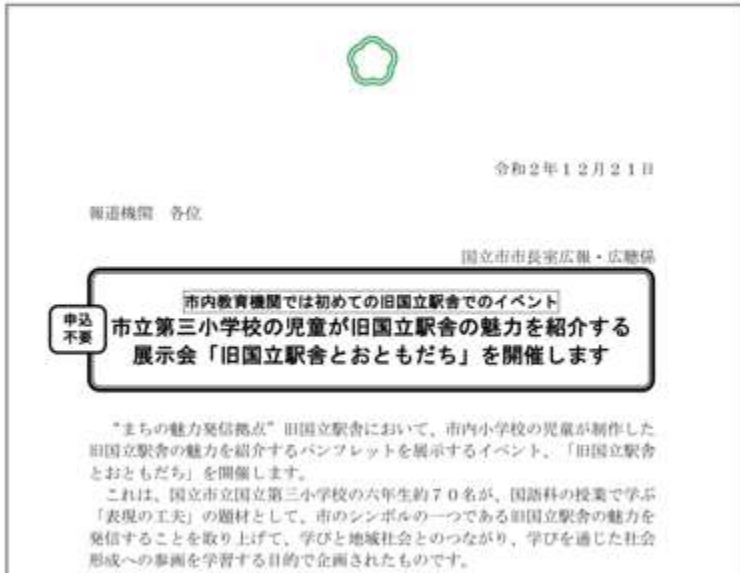
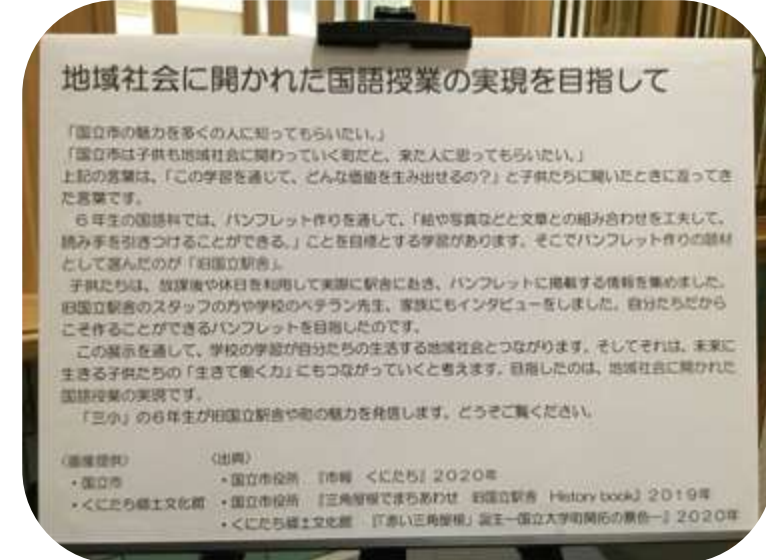
期間中累計来館客数

4,058人



6年生 70人が（国語の授業の一環で）旧国立駅舎のパンフレットをつくりました！

パーティーに貼られた生徒作品パンフレットは、まるで“飛び出す縁本”のようです。



イベントタイトル（旧国立駅舎とおともだち）企画も、イベントタイトルサインも、6年生生徒の作品です。

“地域社会に開かれた国語授業の実現”を目指した授業の成果が、旧国立駅舎での展示イベントにつながりました。

イベント展開実績⑧

8

ピアノ寄贈式&ミニコンサート

@広間

2020. 12.20

主催：国立市 都市整備部 国立駅周辺整備課



国立白うめロータリークラブ様からの寄贈式典から



音楽大付属高校3年生ユニットによるミニコンサート



寄贈式典にはJ:COM様のカメラクルーによる取材も

令和2年12月15日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

旧国立駅舎ピアノ寄贈式・ミニコンサートを開催します

このたび、東京国立白うめロータリークラブより、旧国立駅舎にピアノを寄贈いただくこととなりました。それに伴い、下記のとおり、寄贈式およびミニコンサートを開催します。

寄贈いただくピアノは、旧国立駅舎でのイベント時に使用するほか、誰でも演奏できるストリートピアノ「プレイ・ピアノ」として活用していきます。

このことを市内外問わず広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

【寄贈いただくピアノについて】

旧国立駅舎に寄贈いただくピアノ「SCHIMMEL」は、中央ドイツの都市ブランドウニシュヴァイクに本社を置く、ドイツの歴史ある名門ピアノブランドです。国立大学町(現国立市)のまちづくりの参考のひとつにしたいと言われる中央ドイツの都市グッチェンゲン(グッチェンゲン)と同じ、ニーダーザクセン州というご縁、「SCHIMMEL」ピアノの日本総代理店が、国立市に居を構えて約半世紀のピアノ販売店「ムサン楽器」であるというご縁も重なり、今回このピアノを設置するに至りました。

旧国立駅舎のお知らせ

INFORMATION FROM THE FORMER KUNITADH STATION

12/20 (日) 午前11:00~

旧国立駅舎・ピアノ寄贈式典

ミニコンサート

出演：Music Trio

長瀬川南平 (ピアノ)、鈴木康 (サクラビート)、高橋英人 (ヴァイオリン)

会場：「音楽大付属高校3年生」によるユニットです、「広間」スペース

くにたち

くにたちを音楽であふれるまちへ

旧国立駅舎にピアノを寄贈しました

「市報くにたち」1月5日号のフロント特集にも取り上げられました。

パブリシティ

パブリシティ



旧国立駅舎 @Q_ekisha · 2020年12月25日

【ケーブルテレビ「J:COM」様の『ジモト応援！東京つながるNews〜多摩〜』にて「旧国立駅舎ピアノ寄贈式典&ミニコンサート」が放映されました。】

ピアノのカラーが旧駅舎とマッチしてる、とお誉め頂きました。

再放送/21:00~、23:30~ 翌日7:00~、翌日10:00~、12:30~

#旧国立駅舎 #国立市



3



9



イベント展開実績⑨

9

みんなで奏でる「プレイピアノ」運用開始

@広間

2020.12.20～ 毎日運営中

主催：国立市 都市整備部 国立駅周辺整備課 旧国立駅舎係

ストリートピアノ、街角ピアノに代わる概念と愛称として、みんなで奏でる「プレイピアノ」と命名しました。

旧国立駅舎のお知らせ

INFORMATION FROM THE FORMER KUNITACHI STATION

プレイピアノ
12/21(月)～ 毎日(土・日祝日も)
みんなで奏でる
旧国立駅舎プレイピアノ
アフタヌーン：お昼 12時～ 午後1時00分 まで
イブニング：夕方 5時30分～ 午後6時30分 まで
「広間」スペース

「アフタヌーン」「イブニング」と名付けた時間帯(1日2時間)の毎日定時の帯運営スタイル

みんなで奏でる旧国立駅舎「プレイ・ピアノ」

設置されたピアノの由来
設置されたピアノの由来
「国立音楽村」構想
このピアノは市の歴史に埋もれた「国立音楽村」構想に再び光をあてること、誰でもピアノ「プレイピアノ」として運用される事も紹介されました

ピアノの利用について
下記の時間帯、ピアノを自由に演奏してお楽しみいただけます。
利用可能時間 下記の時間帯のうち1人10分以内
アフタヌーン 正午～午後1時
イブニング 午後5時30分～6時30分
利用方法
ピアノ脇に設置された「予約ボード」に氏名を記入のうえ、順番をお待ちください(ボードは開始1時間前より貸出予定)。



プレイ第1号は、小さなピアニスト。



「プレイピアノ」イブニング初日の風景から。男性の奏者が目立ちます。



パブリシティ

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年12月26日
【「J:COM」様の「ジモト応援！東京つながるNews～多摩～」にて「旧国立駅舎ピアノ寄贈式典&ミニコンサート」が放映されました。】
このピアノが市の歴史に埋もれた「国立音楽村」構想に再び光をあてること、誰でもピアノ「プレイピアノ」として運用される事も紹介されました

#旧国立駅舎 #国立市
旧国立駅舎、誰でも演奏OK：東京新聞 TOKYO Web
旧国立駅舎、誰でも演奏OK：東京新聞 TOKYO Web
旧国立駅舎、誰でも演奏OK：東京新聞 TOKYO Web

パブリシティ

東京新聞 TOKYO Web
“電車降りたらピアノの音色”。東京新聞の見出しから。クリスマスの夜(イブニング)の「プレイピアノ」を取材いただきました。

電車降りたらピアノの音色 旧国立駅舎、誰でも演奏OK：東京新聞 TOKYO Web
旧国立市のR中央線国立駅前に再築された旧国立駅舎内に、ストリートピアノが設置された。ピアノはイベントに利用するほか、誰でも弾ける「プレ...

『旧国立駅舎のプレイピアノ、すごく人気が出そうですね。』との番組コメントいただきました。

① 城山さとのいえ おさんぽガイド

場所：広間、まち案内所、サイネージ
 主催：国立市南部地域まちづくり課



② 富士見通りお散歩VR大作戦

場所：広間+まち案内所
 主催：富士見通り4商店街



③ くにたち街めぐり商品券販売

場所：広間、まち案内所
 主催：くにたち活性化協議会



④ 企画展「写真に見る滝乃川学園」

場所：広間、まち案内所、サイネージ
 主催：くにたち郷土文化館



⑤ 第30回くにたちウォーキング

場所：広間、まち案内所
 主催：国立市体育協会、
 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団



⑥ 子ども食堂Map inくにたち

場所：広間
 主催：国立市 子ども家庭部 施策推進担当課



⑦ 国立でイタリアを旅しよう！

場所：広間、まち案内所
担当：くにたちイタリア商店の会



⑧ 旭通り商店街“ほんの気持ちです”

場所：まち案内所
主催：旭通り商店街



⑨ 国立市市長選挙

場所：広間
主催：国立市選挙管理委員会



⑩

国立市観光大使：三浦祐太郎

場所：広間（サイネージ）+まち案内所
主催：国立市観光まちづくり協会



⑪ 国立駅周辺整備事業の現在

場所：広間
主催：国立市都市整備部 国立駅周辺整備課



今期も旧国立駅舎には多様な“まちの魅力発信大使”がいらっしやいました。

旧駅舎運営への“多様な市民の関わり”を可視化するため、旧駅舎での事前相談などの機会をtwitter内にて「旧国立駅舎にいらっしや〜い」企画として、さみだれ紹介。

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年11月13日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、館内プロモーションの事前相談で足を運んで頂いたのは「くにとらイタリア商店の会」のおふたり。

トスカーナ雑貨と食品「ストラーダ・ピアンカ」の山田さんとトスカーナ料理「アルトパッショ」の吉妻さん

#くにとらイタリア商店の会 #旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 2 📄 📄 9 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年11月18日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、館内プロモーションの相談とスタッフ向けオリエンテーションでいらしていただいたのは、アート関連のマネジメント・PRを手掛ける小井土企画の小井土さん

22日から開催「日本画と鉄人展」を紹介予定

#日本画と鉄人展 #koidokikaku #旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 3 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年11月18日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、広間でのイベントの事前相談、観劇にいらしたのは、国立音楽大学附属高等学校3年生の3人組による「Music trio」の鈴木さん、長尾さん、長谷川さん。

詳細は近日発表予定です。

#Musictrio #国立音楽大学附属高等学校 #旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 3 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年12月8日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、イベント終了後のご挨拶でいらっしやったのは、「天下市写真展」担当者の倉田さん。

「旧国立駅舎で出来て本当に良かった」と感謝の言葉を頂きました。写真展は観覧中、1万人以上の方々に来場頂きました

#国立市商工会青年部 #天下市 #旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 2 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年11月18日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、旧国立駅舎リーフレット制作の打ち合わせにいらしたのは、国立市内の「アールズデザイン」後藤さんと、地域情報誌「国立歩記」の田中さん、小林さん

着物家の小林さんは「鬼滅の刃」仕様の帯留めです

#旧国立駅舎 #アールズデザイン #国立歩記 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 7 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年11月19日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、旧駅舎にいらしたのは、国立市立国立第三小学校の山本先生。

国語の授業の“調べ学習”の対象に旧国立駅舎を選んでいただき、その成果物である〈子どもたち制作の〉パンフレットを旧駅舎でお披露目したい、との事前相談。楽しみます！

#旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 2 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年12月4日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日もご挨拶とイベント相談でいらしていただいたのは、JR中央ラインモールでJR国立駅を担当する諸井さん、細川さん、酒井さん。制服がいいね

昨年10月、荒天により中止となったあの企画（電車になりきりクイズラリー）の復活も？

#nonowa国立 #旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 9 📄 📄 📄

旧国立駅舎 @Q_ekisha - 2020年12月8日
【旧国立駅舎にいらっしや〜い】

本日、イベント利用のご相談でいらっしやったのは、谷保のフリースペース「かけこみ亭」を軸に活動する、NPO法人「復興応援かけこみキャラバン」の黒谷さんと古川さん。

“私たちは忘れない”をテーマと創えた写真展のご相談を頂きました。

#旧国立駅舎 #国立市



🗨️ 📄 📄 📄 4 📄 📄 📄

資料：“寛容さ”の基調を生み出す館内運営マネジメント

①市政策根幹に「ソーシャル・インクルージョン」、②クレーム配慮より人権優先、③障がい者に対するアンコンシャス・バイアス※についてスタッフ間にティーチング。

※“アンコンシャス・バイアス”=無意識の偏見

2020/10/21

旧国立駅舎

来館者の不審行動や迷惑行為に対する対応について

1. 前提

<ポイント>

- ◇ 旧国立駅舎は、誰もが自由に利用できる公共施設（まちの大使館）
- ◇ 国立市の政策の根幹に「ソーシャルインクルージョン」（社会的包摂：誰も排除せず包み交えあう）がある。
- ◇ 我々の無知・無意識による偏見が「不審者」「迷惑者」「酔っ払い」「ホームレス」を創り出す場合もある。
- ◇ 「館内の秩序維持」よりも「人権への配慮」の方が苦悶気づきのためには上位概念であり重要。

○公の施設における人権の考え方について

公の施設である旧国立駅舎は、誰もが自由に利用できることが原則である。

利用を拒む際には正当な理由が必要で、不当な差別的取扱いをしてはならない旨が「地方自治法」に定められている。

また、国立市は平成31年に「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」でソーシャルインクルージョン（全ての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み交え合うこと）を全ての施策の根幹に据えることを定めている。

不審な行動をする来館者への対応の際には、①安全の確保 ②館内の秩序や美観の維持 という観点だけでなく、③対応の結果、来館者への「人権侵害」にあたるまいかということに細心の注意を払う必要がある。

世の中には、一般的には認知されていない数多くの障害や病気が存在しており、そのことを理解していないと、来館者対応の際に知らずして不当な差別的取扱いをしてしまいかねない。

また、社会的マイノリティーの方からすると、公の施設は、「最後のセーフティネット」という意味合いも強く、来館を拒絶されると行き場を失ってしまう可能性があることも留意すべきである。

○優先順位の考え方



高い ← 優先順位 → 低い

○障がい行動の一例

先入観で「異常者」や「不審者」と判断せず、観察と声がけを丁寧に行って、慎重な対応が求められる。

特に下記のようなケースは判断を誤る可能性があるため注意が必要。

あたたかく見守ってください

障がいからくる様々な行動があります。

人の行動変えるには
禁止でなく選択肢で“そっと後押し”

行動経済学における「ナッジ」理論についても
現場職員間で探求中。

“ナッジ”

広義/
一般的

nudge
[ˈnʌdʒ]

ひじでそっと突く、軽く押す；
（人の）注意を引く；
（ある状態などに）近づく

（プログレッシブ英和辞典）



狭義/
専門的



選択を禁じることも、
経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、
人々の行動を予測可能な形で変える
選択設計（choice architecture）

（“Nudge”, Thaler and Sunstein, 2008；邦題「実践 行動経済学」）

より良い方向に行動を導くための手法として、
2000年代後半に提唱された行動科学的アプローチ

※出典：電力中央研究所

資料：旧国立駅舎<リーフレット>制作中。

制作の目的は、旧国立駅舎の ①利活用の円滑促進 と ②理解促進。
「旧国立駅舎ガイドブック」、令和3年1月末に完成予定。鋭意制作中。

